

誓等云云。又云、是我弟子。應弘我法等云云。妙樂云、子弘父法等云云。道暹云、由法是久成法。故付久成之人等云云。此妙法蓮華經の五字をば此四人に被讓候。而に佛滅後正法一千年・像法一千年・末法に入て二百二十餘年が間、月氏・漢土・日本・一閻浮提の内に、未だ一度も出させ給はざるは何なる事にて有らん。正くも讓らせ給はざりし文殊師利菩薩は、佛滅後四百五十年まで此土におはして、大乘經を弘させ給ひ、其後も香山・清涼山より度度來て大僧等と成て法を弘め、藥王菩薩は天台大師となり、觀世音は南岳大師と成り、彌勒菩薩は傅大士となれり。迦葉・阿難等は佛滅後二十年四十年法を弘め給ふ。嫡子として讓られさせ給へる人の未だ見えさせ給はず。二千二百餘年が間、教主釋尊の繪像木像賢王聖主本尊とす。然れども但小乘・大乘・華嚴涅槃・觀經・法華經の迹門・普賢經等の佛、眞言大日經等の佛、寶塔品の釋迦多寶等をば書ども、いまだ壽量品の釋尊は山寺精舎にまします。何なる事とも量がたし。釋迦如來は後五百歳と記し給ひ、正像二千年をば法華經流布の時とは仰せられず。天台大師は後五百歳遠沾妙道と未來に讓り、傳教大師は正像稍過已末法太有近等書給て、像法の末は未だ法華經流布の時ならずと我と時を嫌ひ給ふ。さればをしはかる(推

①(四)一 ②成り=生れ ③なれり=成り給へり ④(是)十まし

量)に、地涌千界の大菩薩釋迦・多寶・十方の諸佛の御讓御約束を空く默止てはてさせ給  
 べき歎。外典の賢人すら時を待まつ。郭公ほととぎすと申す畜鳥は卯月五月に限る。此大菩薩も末  
 法に出べしと見えて候。いかんと候べきぞ。瑞相と申事は内典外典に付て必有スルべき  
 事先に現ノざるを云也。蜘蛛かゝて喜よろこび事來り、鴉鵲鳴て客人來ると申て、小事すら驗しる  
 先に現ニず。何況や大事をや。されば法華經序品の六瑞は一代超過の大瑞也。涌出品は  
 又此には似にべくもなき大瑞也。故に天台云、雨の猛きを見ては龍の大きな事を知  
 華の盛シなるを見ては池の深き事を知と書れて候。妙樂云、智人は起を知り、蛇は自ら  
 蛇を知と云云。今日蓮も之を推して智人の一分とならん。去る正嘉元年太歲丁巳八月二十  
 三日戌亥の刻の大地震と、文永元年太歲甲子七月四日の大彗星。此等は佛滅後二千二百餘  
 年の間未だ出現せざる大瑞也。此大菩薩の此大法を持て出現し給フべき先瑞歎。尺  
 の池には丈の浪たたず、驢吟ウずるに風鳴フらず。日本國の政事亂れ萬民歎クに依ては  
 此大瑞現じがたし。誰か知んラ、法華經の滅不滅の大瑞なりと。二千餘年の間惡王の  
 萬人に訾シらるる。謀叛の者の諸人にあだまるる等。日蓮が失とがもなきに高きにも下ひき  
 にも、罵詈毀辱刀杖瓦礫等ひまなき事二十餘年也。唯事にはあらず。過去の不輕菩

① し給べき=すべき ② 風鳴らず=不風 ③ 歎くに依ては此大瑞=歎き依此大瑞 ④ 誰か知らん=惟に知ぬ